

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業点検・評価調書

4- -5

4-
-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	エコツーリズムの啓発
節	来訪者マナーの醸成		
事業(施策)名	5 エコツーリズム普及啓発	事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～H34	関連団体	県観光振興課、新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光振興課、県観光協会、佐渡観光協会
事業概要	【事業目的】	自然環境や歴史文化など地域固有の魅力由来訪者に伝え、その価値や保全の大切さについて理解促進を図る。	
	【事業内容】	ホームページや各種リーフレットのほか、旅行代理店等への働きかけによってエコツーリズムの普及を図る。	
⑳ 事業計画と実績	【29年度計画】	現地発着の「佐渡エンジョイプラン」パンフレットを年2回作成し、自然や歴史文化が体験できるプログラムを紹介する。トレッキングマップや各種リーフレットでマナー向上を呼びかけ、佐渡奉行所やゴールデン佐渡を含む自然や歴史が体験できるトレッキングを推進する。	
	【29年度実績】	佐渡エンジョイプランとして佐渡観光協会と連携し66本のプログラムを企画し、1502人の参加があった。佐渡の自然を満喫してもらうため、佐渡観光協会やトレッキング協議会と連携し、マップやホームページでの最新情報の発信を行った結果、トレッキング客は年間 21,000人(前年20,000人)となった。	
課題・今後の課題	【課題】	観光客ニーズの多様化への対応が必要である。	
	【今後の取組】	観光客ニーズにあった魅力あるプログラムを拡充させる。	
事業評価	【事業の達成度】 (a・ <u>b</u> ・c)	当初計画どおり事業を実施したことからBとした。	
	【事業実施の効果】 (a・ <u>b</u> ・c)		
	【総合評価】 (A・ <u>B</u> ・C)		

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。